

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 659 事業名 3歳児保育事業(特別支援補助を含む。)

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	2	幼児教育の充実
取組	3	幼児教育機会の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		幼稚園費
	目		幼稚園管理費
	大事業		幼稚園管理事業
事項		3歳児保育等事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長(Tel)	教職員課	勝本 泰弘 (435-1196)	
関連課			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	<p>多人数の園や学級、障害のある園児が在籍する園の保育環境を整備する。</p>	<p>20人を超える3歳児学級、30人を超える4・5歳児学級、障害のある園児が多く在籍する園に幼稚園教諭免許を持っている非常勤講師を配置し、担任とともに複数体制で指導を行う。</p>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置した。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置した。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置した。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置した。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置する。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	42,003	39,169	40,033	40,040	40,435	39,651	40,427	39,697	40,444	
伸び率(%)	-	-	-4.7%		1.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,128	2,146	2,146	2,697	2,146	2,692	2,146	1,984	1,984
	非常勤職員									
	小計	2,128	2,146	2,146	2,697	2,146	2,692	2,146	1,984	1,984
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	42,003	39,169	40,033	40,040	40,435	39,651	40,219	39,697	40,270	
所要人数	常勤職員	0.28	0.28	0.28	0.36	0.28	0.36	0.28	0.27	0.27
	非常勤職員									
主な予算内訳	報償費 33,360千円 共済費 5,590千円 旅費 1,494千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	保育補助教員配置数					年度目標値	20	20	20	20
						実績値	20	20	20	20
	単位	人	全体目標値	20	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
			全体目標値	20	全体目標達成度	83.3%	年度別達成度	83.3%	83.3%	83.3%
成果指標	配置した園の数					年度目標値	12	12	12	12
						実績値	10	10	10	10
	単位	園	全体目標値	12	全体目標達成度	83.3%	年度別達成度	83.3%	83.3%	83.3%
			全体目標値	12	全体目標達成度	83.3%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
ヒアリングにより配置してもらって良かったと答えた園の数					年度目標値	10	10	10	10	
					実績値	10	10	10	10	
	単位	園	全体目標値	12	全体目標達成度	83.3%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	障害があると思われる園児は、年々増加傾向にあり、特別支援の充実が求められる状況が続いているが、保育補助員はその役割をよく果たし、配置園からのヒアリングによる実施成果も好評である。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	4、5歳児の特別支援の充実が図られるように、補助員の増員を検討したい。